



2017年のトレンド予測

住まい領域

住まいのマッチングサービス

Web

パソコン



スマートフォン



情報誌

フリーペーパー



市販誌



無料相談所

スーモカウンター

注文住宅
新築マンション
リフォーム



キーワード



リビ充家族

||
リビング充実



スマホ。共働き。テレワーク。

リビングはテレビ中心の寛ぐ場から
仕事・勉強・遊びなど
「**家族それぞれの時間を過ごす
多機能空間**」へ

都心回帰。駅近志向。価格高騰

立地を優先し、一定の広さ内で
間取りの工夫が求められるなか、
「**リビング^{マックス}MAX、個室^{ミニマム}min**」へ

リノベーションの分野では既にこの兆候が表れているが
新築分譲でも「リビ充プラン」を提案する物件が登場し、
小屋のような「リビ充支援ツール」も登場してきた。

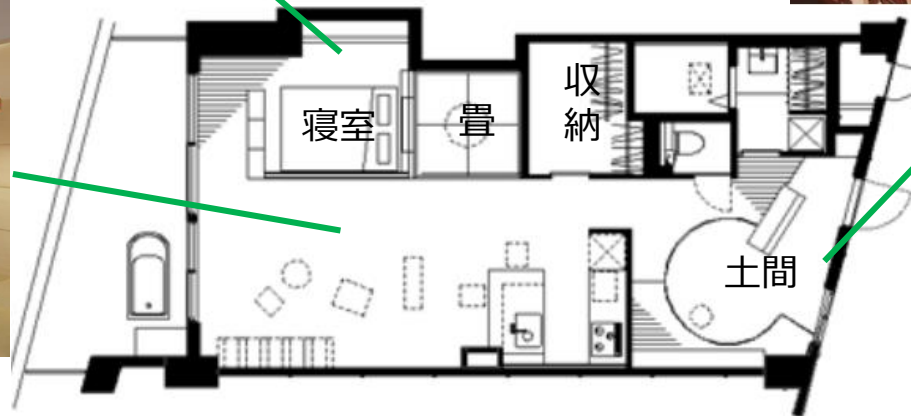
**リビングを最大に広げて、空間は共有しつつも、
各々が好きに充実した時間を過ごす「リビ充家族」
が今後はより増えていくことが予測する。**

リビングを最大に広げて、空間は共有しつつも、各々が好きに充実した時間を過ごす



【事例①】 2つのリビング空間+寝室は超ミニマム

廊下側住戸は子ども部屋設定のマンションが多いが、**採光や通風は微妙**。
そこを円形で楽しげな**土間リビング**にし、後で必要なら子ども部屋に修正。
リビングと天井続きの寝室に家族全員がコンパクトに寝ている。



Sさん一家 (夫、妻、子ども1歳・0歳)
東京都大田区 築36年 / 68.01m²

【事例②】リビングに学習機能 + 将来設計の子ども部屋 まだ、ここにはない。出会い。 RECRUIT

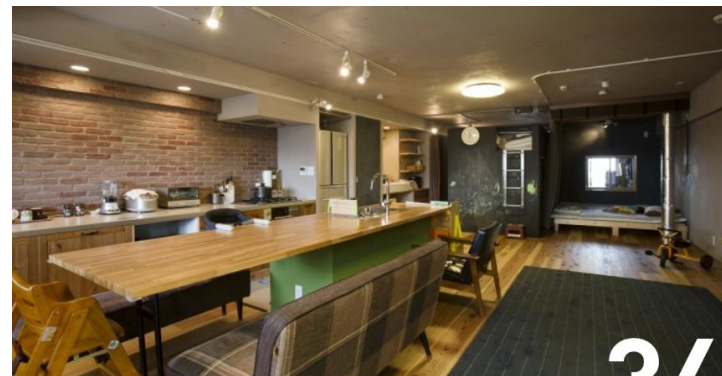
60㎡で夫婦 + 小学生2人。壁付キッチンで広いリビングを実現。
子ども部屋スペースはあるのに、**リビングに勉強デスク**。
寝室・子ども部屋・収納は一続き。将来の子ども個室だが**フレキシブル**に。
引き戸にして開ければオープンなスペースに。



Yさん一家 (夫、妻、子ども10歳・7歳)
東京都文京区 築14年 / 60.0㎡

【事例③】 「可動式ロフト」で1R的リビング

ワンルームに「動かせるロフト」を設置することで**収納力UP**＋**縦空間**を活用。走ったり、黒板塗装でお絵かきしたり遊べる空間の片隅に**ワークスペース**も。



Tさん一家 (夫、妻、子ども6歳・3歳)
東京都江東区 築29年 / 68.3m²

2006年～ 子どものリビング学習が注目される

2009年～ リノベーション台頭。リビングに趣味色

ライフスタイル・趣味に部屋をあわせる動き
例) リビングに自転車やハンモックを吊るす

2011年～ 震災後の絆志向 + スマホ標準化で家族のリビング時間重視

2011年のスマホ所有世帯は29.3%。2015年末には**72%**に
出典) 総務省 平成27年通信利用動向調査ポイント

2014年～ マンション価格高騰。立地重視。間取りに工夫が必要

3LDK60㎡圧縮間取りの復活。リノベではワンルーム多機能化進む。
立地重視。面積妥協は世界大都市共通の傾向

2016年～ リモートワーク取り入れる会社が増加

リモートワーク導入企業は2014年末9.3%から2015年末には**16.2%**に
出典) 総務省 平成27年通信利用動向調査ポイント

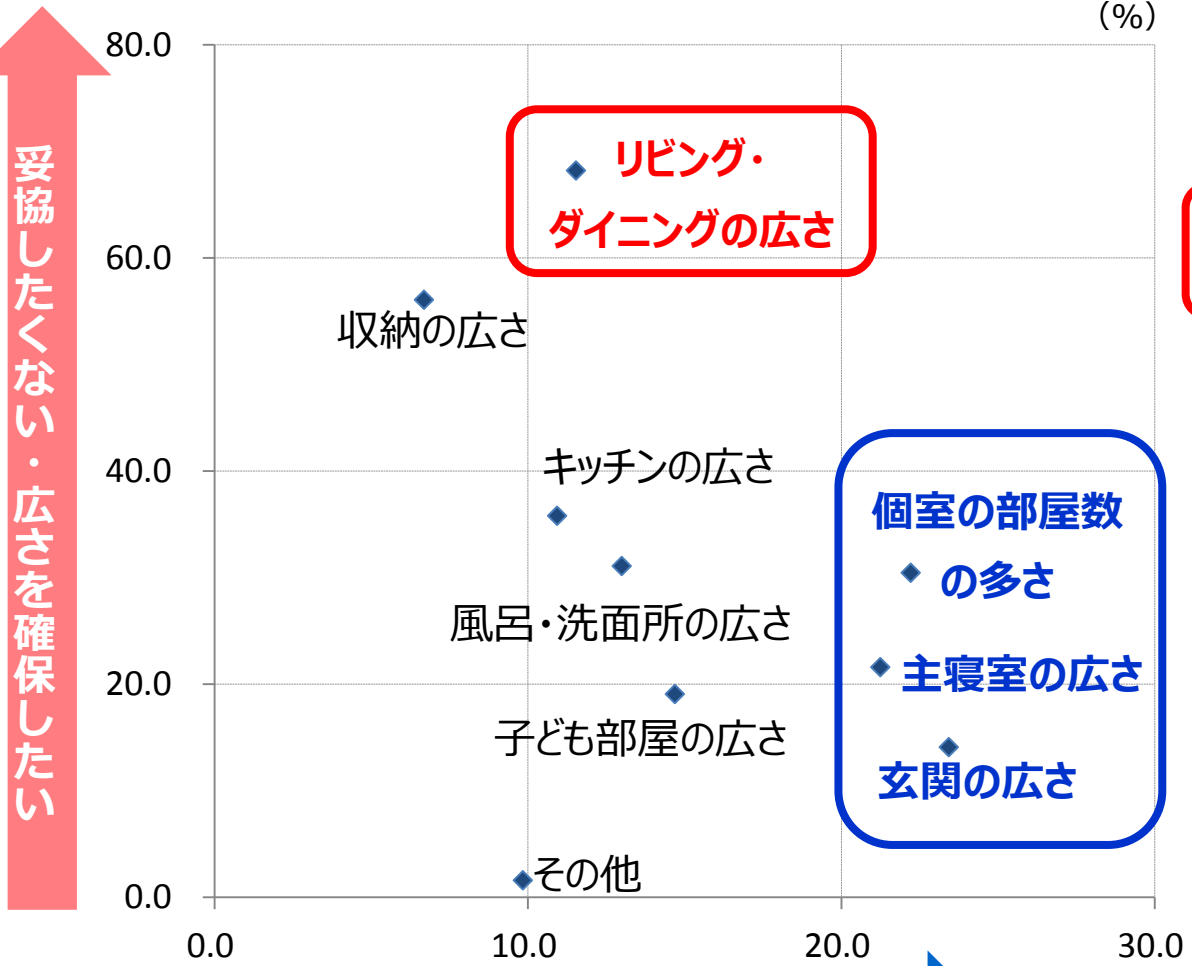
可動性のあるリビング多機能化ツールが登場

⇒ 仕事の間を含めた『リビングの多機能化』が一層進む

【生活者】リビングの広さは求め、玄関・寝室は妥協

妥協したくない項目：「**リビングの広さ**」 68.2%

妥協してもよい項目：「**玄関の広さ**」「**主寝室の広さ**」「**個室の部屋数**」



	妥協 NG (%)	妥協 OK (%)
リビング・ダイニングの広さ	68.2	11.5
個室の部屋数の多さ	30.5	22.2
主寝室の広さ	21.6	21.2
玄関の広さ	14.1	23.4

(n=824)

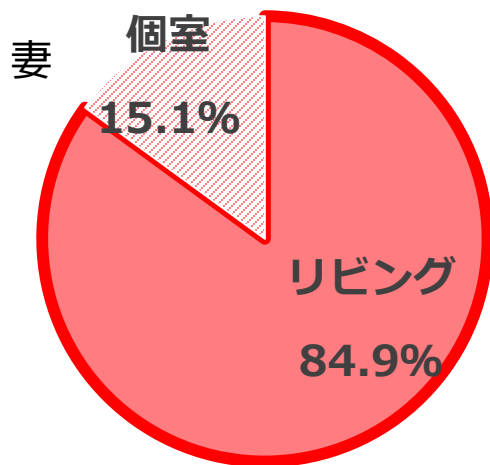
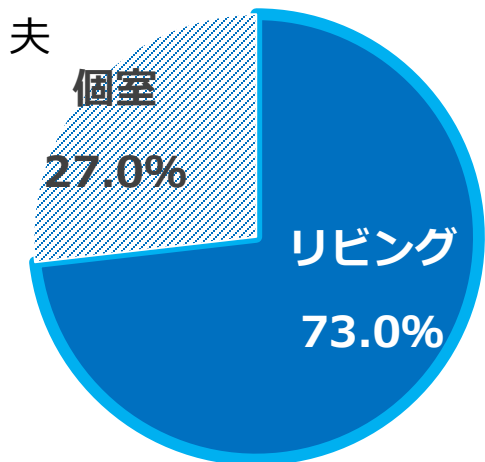
妥協したくない・広さを確保したい

妥協してもよい・狭くなってもよい

【生活者】夫婦ともリビングで多彩な活動をしている

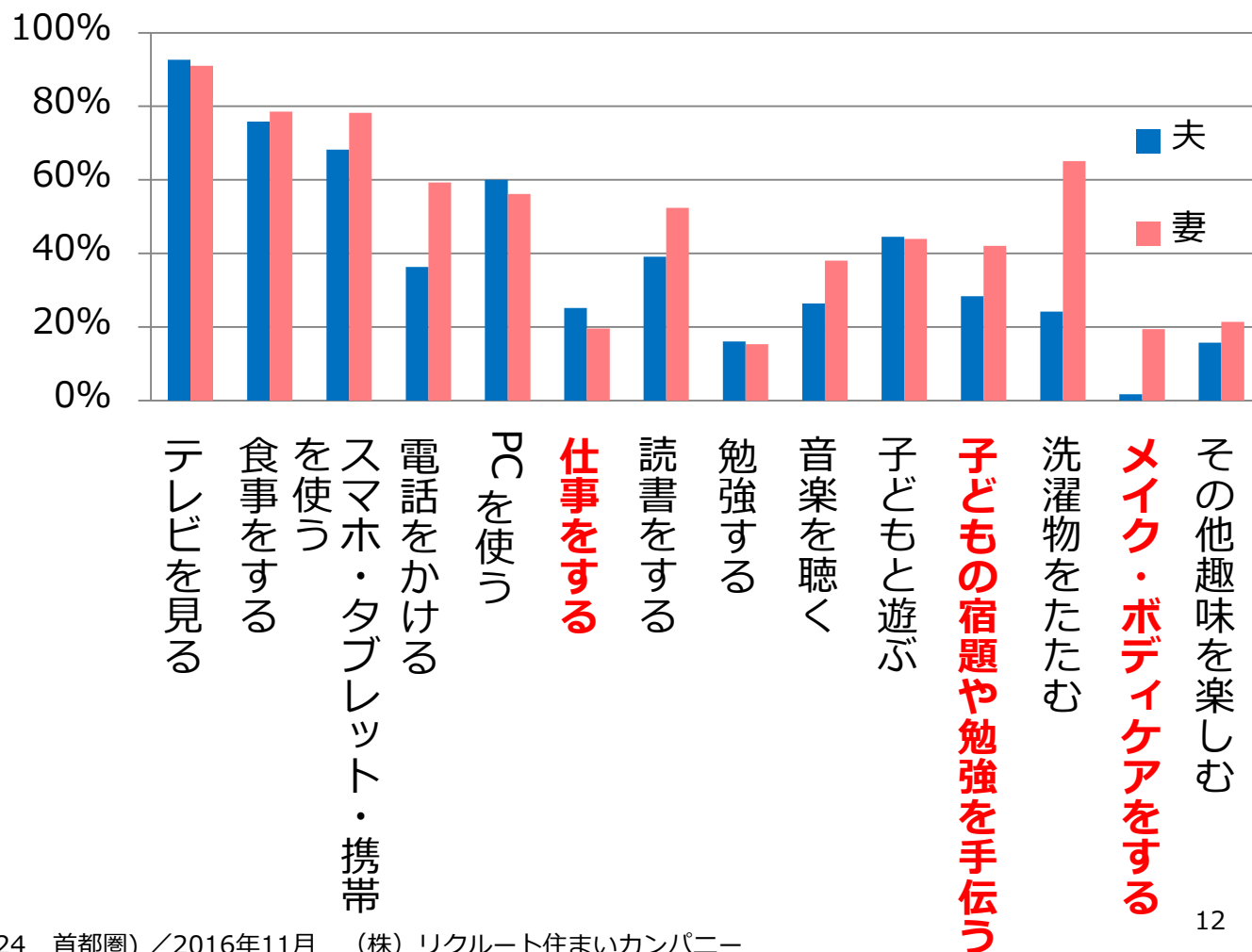
夫婦は1日の8割前後をリビングで過ごし、その過ごし方も子どもの宿題手伝い、仕事、メイク・ボディケアなど多岐にわたる。

過ごす時間



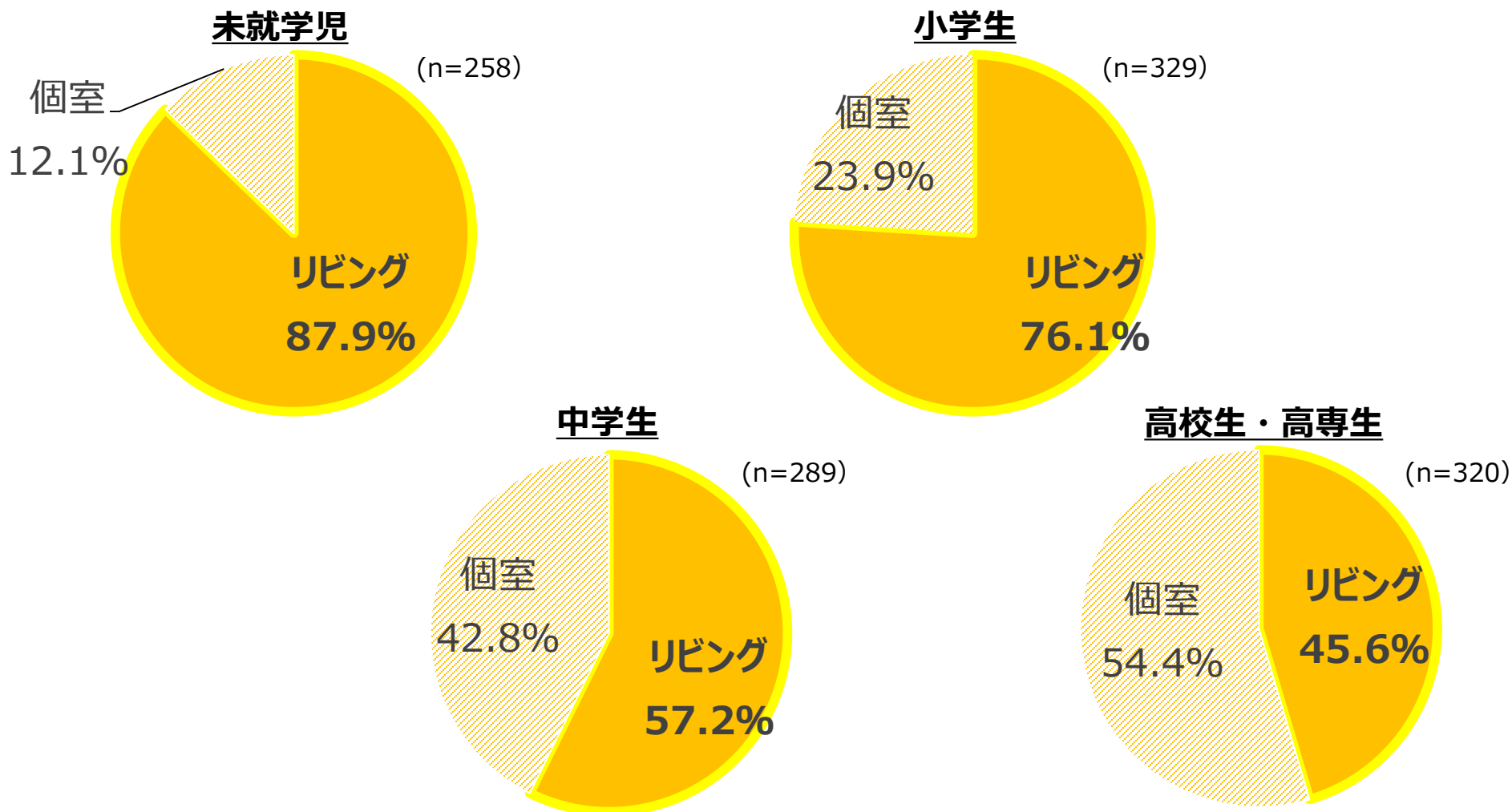
リビングでやること

夫(n=815)
妻(n=822)



【生活者】子どものリビング滞在時間も長い

子どもは、年齢とともにリビング滞在時間は減るものの、
高校生でも**1日のほぼ半分はリビング**で過ごしている。

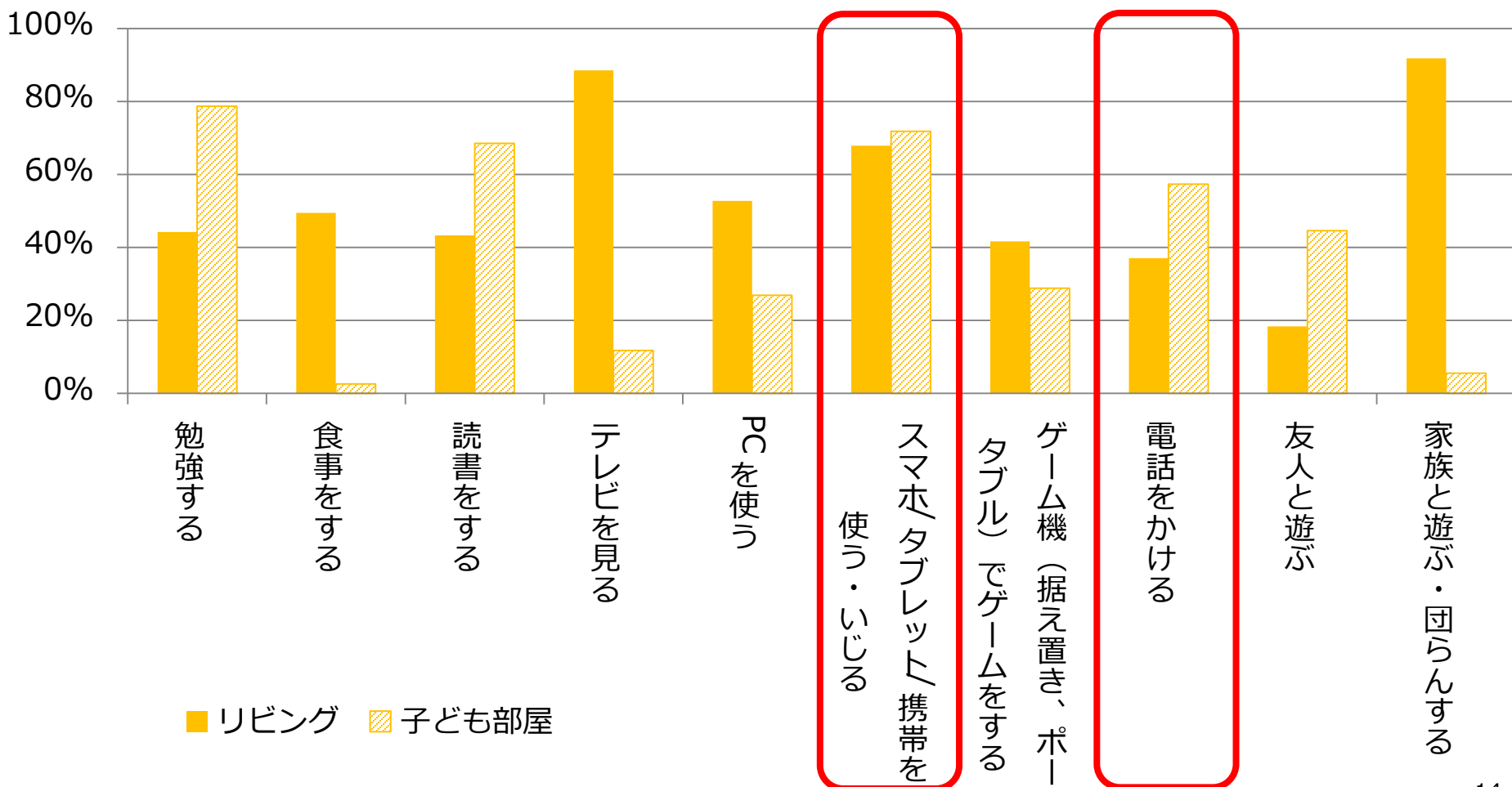


【生活者】 高校生でもリビングでスマホ・電話

高校生になっても、「スマホを使う」「電話をかける」といったプライベート性の高い行動をリビングで行う傾向がある。

家の中で、以下の行動を行う場所（高校生）

(n=305)

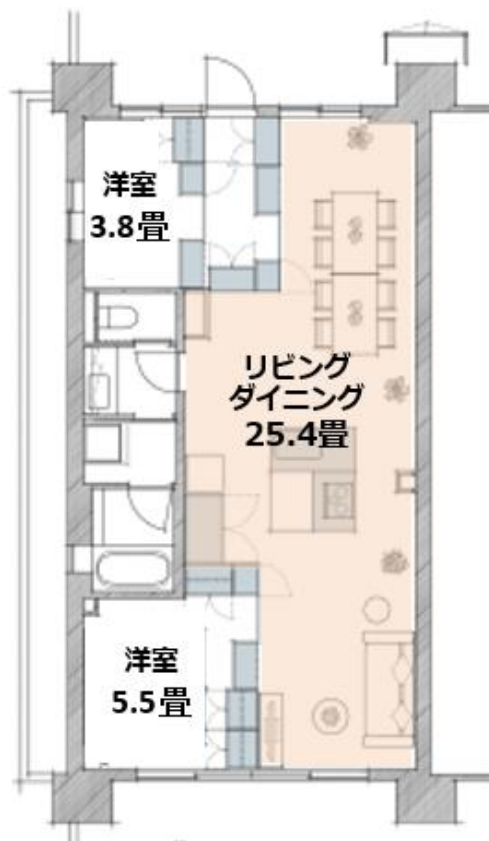


【生活者】“リビ充間取り”派のほうが主流？

ファミリー層に聞いたところ
同じ広さ比較では一般的な3LDKより、**リビ充間取り**のほうが**人気**。

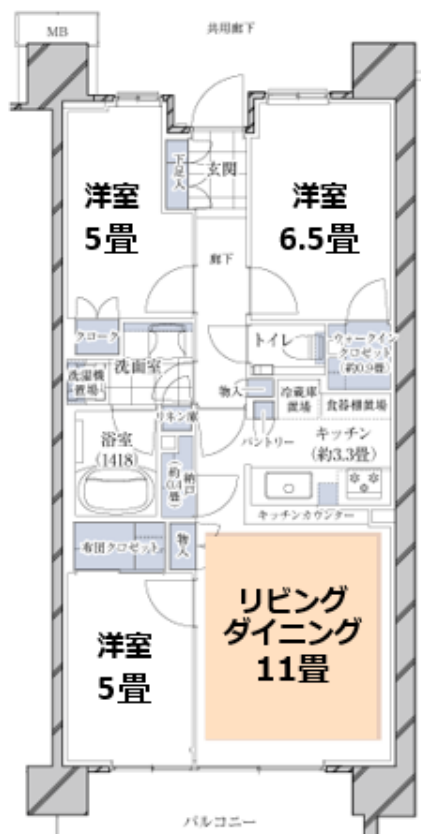
リビ充間取り

魅力的が**47.2%**

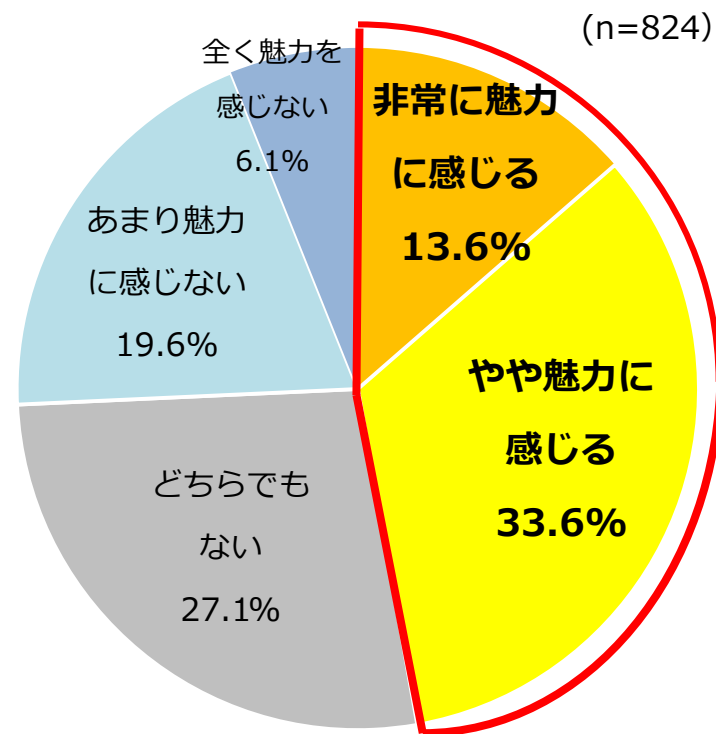


一般的な3LDK間取り

魅力的が**37.6%**



リビ充間取りを魅力を感じますか？



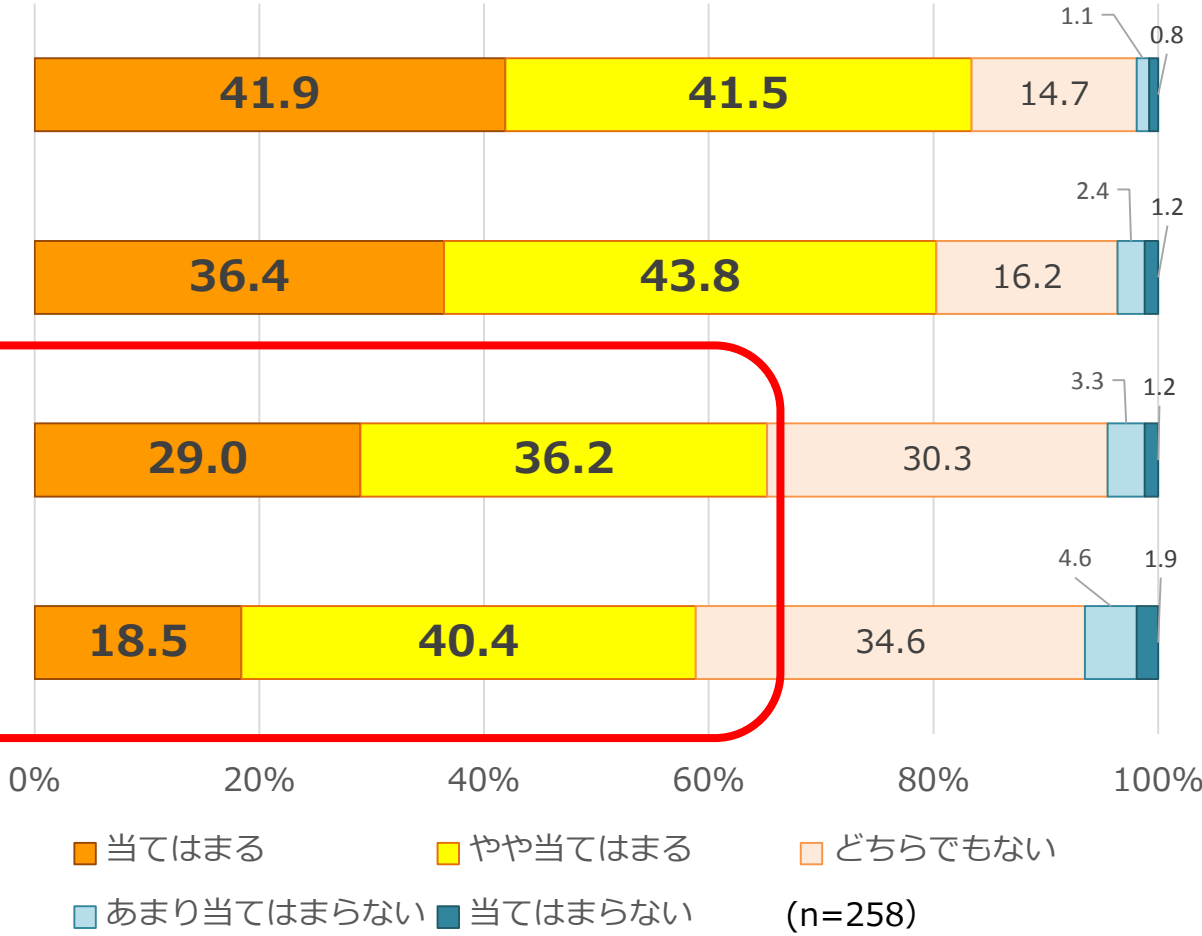
なぜリビング時間を充実させたいのか？を聞くと
コミュニケーション、心地良さに加え、**親子の関係性変化**が見られる。

家族でリビングにいる時間が長いことは
家族間の**コミュニケーションに有益**だ

家族でリビングにいる時間は**心地が良い**

子どもと親との関係性が、自分が
子どもの頃よりも気楽（フレンドリー）
になったと感じる

家族がリビングでバラバラなことをして
いても、なんとなく**連帯感・一体感**を感じ
る

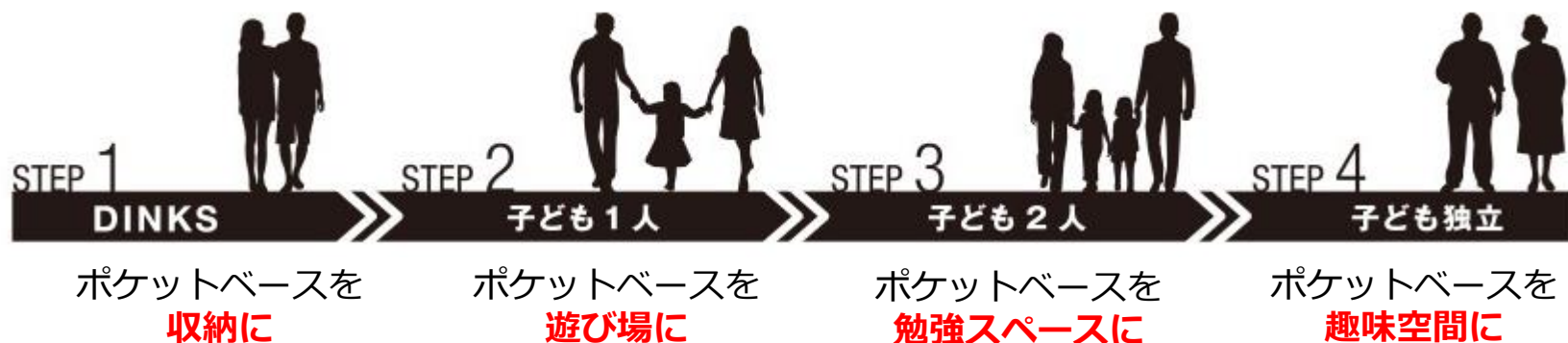


リビング内に**基地スペース**を設置。収納・遊び・昼寝・勉強とマルチに使える。
幅広い客層想定の新築マンションでも**創意工夫**が生まれている。



ポケットベース

小さな2階建てのような基地空間に床下収納も設置。



1.5畳のこども小屋

ベッドもついている小さな子ども部屋inリビング。



(提供：株式会社SuMiKa ×
光本直人+濱名直子 / ミハデザイン)

1畳ハウス

自身で簡単に組み立てられる1/2～2畳サイズの小屋キット。



(提供：株式会社 夏水組)

リビング学習用デスク

リビング学習を前提とした学習デスク。



(提供：株式会社パモウナ)



(提供：大谷産業株式会社)

キーワード



リビ充家族

||
リビング充実



スマホ。共働き。テレワーク。

リビングはテレビ中心の寛ぐ場から
仕事・勉強・遊びなど
「**家族それぞれの時間を過ごす
多機能空間**」へ

都心回帰。駅近志向。価格高騰

立地を優先し、一定の広さ内で
間取りの工夫が求められるなか、
「**リビング^{マックス}MAX、個室^{ミニマム}min**」へ

リノベーションの分野では既にこの兆候が表れているが
新築分譲でも「リビ充プラン」を提案する物件が登場し、
小屋のような「リビ充支援ツール」も登場してきた。

**リビングを最大に広げて、空間は共有しつつも、
各々が好きに充実した時間を過ごす「リビ充家族」
が今後はより増えていくことが予測する。**